

平成26年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	寺沢 隆宏
	全体計画	平成25年度 ~ 平成27年度			経費区分	経常的経費		内線	3115			
事務事業名	4033 行政改革推進事業											
所 属	050100 総務部・総務課											
施 策	07024600 市民と共に歩む、信頼され活気ある組織・体制づくり											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	020101 総務費・総務管理費・一般管理費										
	事業	060000 行政改革推進事業										
事業目的						事業概要・効果						
<ul style="list-style-type: none"> ・「最少の経費で最大の効果」があげられる、柔軟で効率的な行財政の推進 ・「市民のため」、「須坂市のため」に、創意工夫をこらして日常的に改革を実行していく 						第三次チャレンジプランに沿った行財政改革の推進各課等の所管業務に係る課題について、達成に向けた進行管理を行った。これらの課題のうち、次年度も引き続き取り組む等の課題を除く課題が解決された。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
行財政改革第二次チャレンジプランの推進 第五次総合計画の進行管理のための事務事業評価の実施 外部評価員による事務事業評価内容のチェック	行財政改革第二次チャレンジプランの推進 課等の課題進行管理システム導入 外部評価員による事務事業評価内容のチェック
平成24年度 実績	平成25年度 実績
行財政改革第二次チャレンジプラン最終年度での総括 第三次チャレンジプランの策定	第三次チャレンジプランの推進(計画期間25~27年度) 行政評価システムと財務会計システムの連動作業 有識者を加えた外部評価制度の見直し
平成26年度 予定	平成27年度 予定
第三次チャレンジプランの推進 行政評価システムと財務会計システムの連動による評価業務負担軽減 国要請の「公共施設等総合管理計画」の策定	第五次総合計画後期基本計画と連動した、次期行財政改革の策定 第三次チャレンジプランの推進、期間最終年度の総括

指標名	第三次チャレンジプラン効果額				
算式	支出削減、収入確保による効果額				単位 億円
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標	2.67	3.75	1.51	2.86
	実績	2.7	3.33	9.56	
指標選定の理由	財政健全化に向け、支出を削減し収入の確保する取組みの可視化				
最終年度目標の根拠	実施計画において算出した基金繰出額のうち約半分を目標効果額とした				
指標名					
算式					単位
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成25年度 決 算	平成26年度 予 算
事業費		1,164	2,506
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		1,164	2,506
人員数(人)	正規職員	0.9	0.9
	嘱託職員	0.7	0.7
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	6,172.2	6,172.2
	嘱託職員	1,907.5	1,907.5
	臨時職員	0.0	0.0
	計	8,079.7	8,079.7
市民一人当たりの経費		0.2	0.2
総額		9,243.7	10,585.7

(単位：千円)

平成25年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	180	外部評価員謝礼
11節 需用費	5	外部評価会議時飲料水購入
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	979	行政評価システム使用料900千円

(単位：千円)

平成26年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	667	外部評価員謝礼147千円、「公共施設等総合管理計画」策定アドバイザー謝礼500千円
11節 需用費	10	外部評価会議時飲料水購入
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	1,829	行政評価システム使用料1,389千円

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	「行政改革」は効果的効率的な行政運営の推進のために必要不可欠な取組みであり、その方針運用としても行政改革推進事業は必要。 公共施設等の維持管理を含め、長期的視点に立った行政運営を進めるためにも必要な事業である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	目標効果額を掲げ、年度ごとの進行管理を行いつついる。 25年度は目標効果額を6.3倍上回ったが、次年度以降も同レベルの効果額を確保するよう努める。 金額算出できないソフト面での目標達成に向けても、進ちよく管理を進める。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	財務会計システムと行政評価システムを連動（27年度評価時に本連動）させたことで、入力作業の負担軽減となった。 行政評価、外部評価時の資料作成負担軽減にもつながっている。 行財政改革第三次チャレンジプランの進ちよくを管理し、財源確保効率性向上に努めている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

行財政改革の進ちよく管理、効果検証、改善の「PDCAサイクル」を負担なく進めるための仕組みづくりを、さらにすすめたい。
 財務会計システムと行政評価システムの連動により、予算決算と評価の連動、総合計画の進行管理に活用できるシステム構築ができた。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>行財政改革チャレンジプランの平成25年度目標効果額を大きく上回る事ができた。市民サービスマインドなど、行政改革もさらに進めていく必要がある。</p>		<p>第三次行財政改革チャレンジプランの目標効果額を大きく上回った。また、評価業務の負担軽減にも努めているが、業務全般にわたり、各職場における負担軽減に努めるとともに、小さなことの積み重ねも大切にする必要はある。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	